

令和4年度 第3回 新津小・中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月21日（火） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 新津小学校北校舎1階 会議室
- 3 出席委員 中村 和則、徳井 悟、下位 彰吾、赤堀 則之、水谷 裕美、松田 真紀子、澤根 緑、阿部 まゆみ、松田 哲、内山 真由美
- 4 欠席委員 深津 正樹、大石 陽子
- 5 オブザーバー 松本 拓也（新津協働センター）
- 6 学 校 山下 博之（新津小校長）、平野 敦子（新津中校長）、古橋 智一（新津小教頭）、池野 弘昭（新津中教頭）、森 英仁（新津小CS担当教員）、二宮 千穂（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 二宮 千穂
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、下位委員から赤堀委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

（1）学校関係者評価

- ・自己評価（子供・保護者・教職員のアンケートの結果及び、その分析結果と改善策等）の結果について
- ・学校の説明を受け、改善策について熟議

（2）学校運営協議会の自己評価

- ・学校運営協議会の取組についての振り返り

（3）来年度の学校運営の基本方針の説明

（4）夢育やらまいか事業CS加算分の報告

12 会議記録

司会の新津小教頭から、委員総数12人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価

議長の指示により、小学校CS担当教員・中学校教頭から、別紙資料に基づき学校評価について説明があり、以下の点について議論した。

- ① 挨拶ができる子供を地域で育てる方法
- ② 地域・保護者・学校の無理のない、持続可能な連携の方法
総合、防災といったところで連携が図れないか。
- ③ 学校職員が子供と向き合う時間を確保するために、どのような地域の支援が得ら

れるか。

子供にも、教員にも、なんとかして時間を作れないか。

- ・挨拶の件については、子供たちはちゃんとできていると思う。ハードルが高い。親がちゃんと目を見て挨拶することが一番効果があると思う。(澤根委員)
- ・挨拶は子供たちできていると思う。先生方の評価を高くしてほしい。そうしないと褒めてあげられない。(徳井委員)
- ・自治会、地域の方から挨拶していけば、少しずつ変わっていくと思う。(松田委員)
- ・学校から依頼してほしい。発信してくれれば地域は動く。(徳井委員)
- ・自治会長はすぐに動く。(中村委員)
- ・地域との連携という点では、実際に学校から地域にお願いしたいことはどんなことがあるのか？(下位委員)
 - 実際にお願ひして動いていただいている件で、子供たちの通学路でJAの通りをストレートに渡るところに横断歩道がなく、横断歩道の設置を防犯町作りのみなさんにお願ひして動いていただいた。
正門ミラー、防犯カメラの設置も依頼した。(新津中校長)
 - 学校はこんなところが大変なんだよと発信できる場があるとありがたい。
授業の質と子供たちの安全を確保するために時間が必要である。ボランティアの方に得意な分野での部活動の指導、運動会の準備などお願ひできればよいと考える。(新津小校長)
- ・コロナの関係でマスクを付けた中、マスク越しでの挨拶。顔が見えない、接触を避ける中で、元気な挨拶が難しくなっているのではないか。子供・大人・地域で変わっていく必要がある。コロナで止まっていた地域活動の中で、積極的に大人のほうから声掛けしていくことが大事。(赤堀委員)

(2) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、中村委員から、別紙資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があり、小、中2つのグループに分かれて議論をし、以下の発言があった。

○中学校グループ(中村委員、赤堀委員、水谷委員、松田真紀子委員、松田哲委員)

- ・津波避難食を確保していくことは大切。
- ・具体的な内容を出してボランティアを募集していく。
- ・先生の時間という点では、例えば防災訓練を地域・PTA・子供だけで企画するといったことを協議していければ。

○小学校グループ(徳井委員、下位委員、澤根委員、阿部委員、内山委員)

- ・学校の先生が大変なのはわかるが、地域に何をしてほしいか不明確なのでアクションを起こせない。
- ・大変なところを地域のボランティアで補っていくことは大事だが、それで先生たちが楽になっただけではなく、学校がよくなること、地域が活性化していくことが目標。

(3) 来年度の学校運営の基本方針の説明

議長の指示により、小・中校長、小学校教頭から、別紙資料に基づき来年度の学校運営の基本方針、いじめ防止基本方針について説明があり、以下の発言があった。

・中学校の制服の話について、マイノリティという言葉が出たが、女子のスラックス選択も想定してということですか？（下位委員）

→ 大前提としては、男女の差をつけにくいものとして、ブレザー、スカート、スラックスの3つで検討している。（新津中校長）

・学校経営書について、毎年特性が違おうと思うので、今年度はこうしますよ、といった言葉を入れてはどうか。キャリア教育とはこういうものですよ、小学校・中学校9年間を通してやっていますよ、といった説明が必要ではないか。（松田哲委員）

（4）夢育やらまいか事業CS加算分の報告

議長の指示により、新津小教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業CS加算分について報告があった。

その他報告事項

・新津小教頭から、次年度の開催日程について連絡があった。

第1回 令和5年 5月 9日（火）14:00～16:00 会場：新津小
熟議内容：学校運営の基本方針について

第2回 令和5年 6月30日（金）14:00～16:00 会場：新津中

第3回 令和5年10月18日（水）14:00～16:00 会場：新津中

第4回 令和6年 2月 2日（金）14:00～16:00 会場：新津小

・次回議長について、赤堀委員から、下位委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なく、下位委員にお願いすることが決まった。

・新津小校長から、次年度会長・副会長については、次年度第1回学校運営協議会で互選により決定するとの連絡があった。